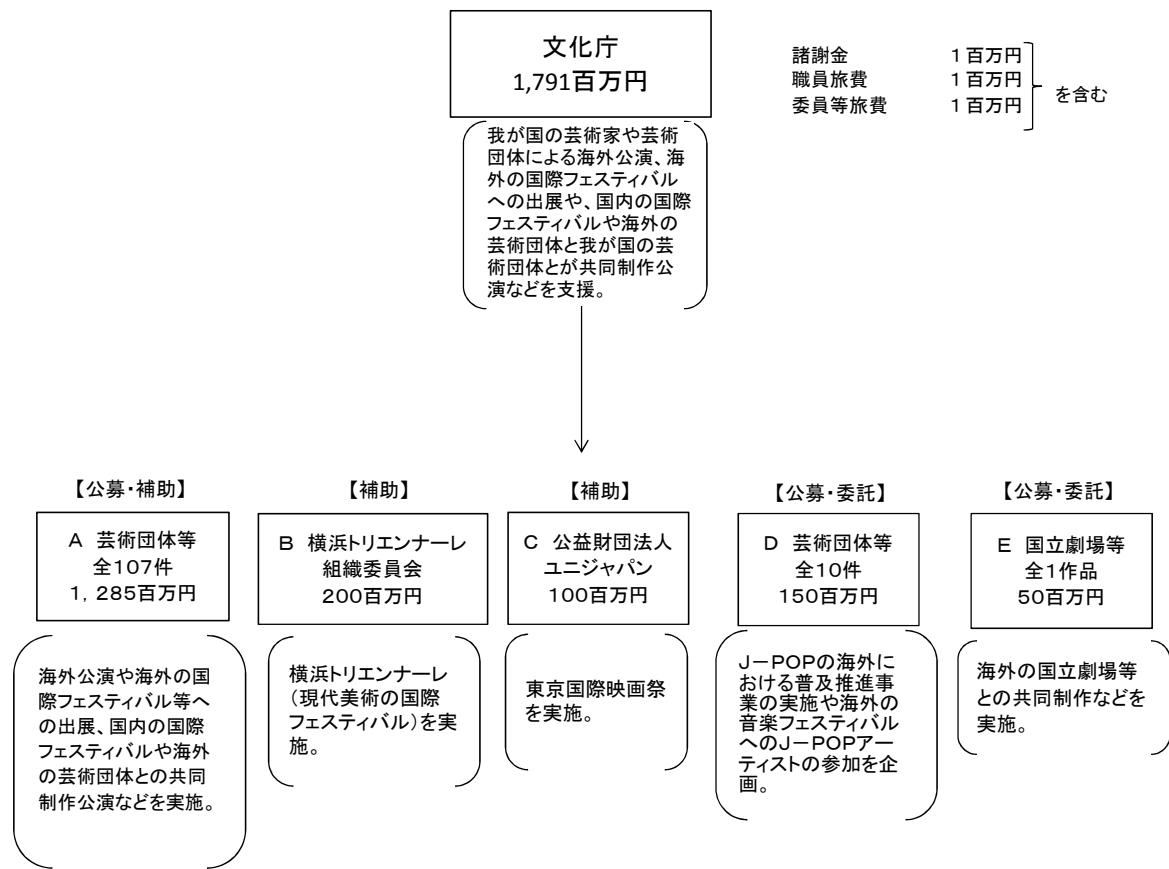


## 平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	芸術文化の世界への発信と新たな展開		担当部局	文化庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度～終了年度未定		担当課室	文化部芸術文化課 文化財部伝統文化課		芸術文化課長 舟橋 徹 伝統文化課長 平林正吉	
会計区分	一般会計		政策・施策名	XII 文化による心豊かな社会の実現 XII-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進			
根拠法令(具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第15条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	舞台芸術や現代アートなど我が国の優れた芸術文化を積極的に海外に発信するとともに、各分野における国際文化交流を推進することにより、我が国の芸術水準の飛躍的向上を図り、我が国における芸術文化の創造力と国際競争力を高め、「文化芸術立国」の推進に資する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	上記の目的を達成するため、芸術団体等が行う以下の事業・取組に対し支援。[補助率 対象経費の一部] (1)国際共同制作支援 我が国の芸術団体と外国の芸術団体との国際共同制作公演に対して支援 (2)国際フェスティバルの開催 我が国で開催される海外発信力のあるフェスティバルに対して支援 (3)海外国際フェスティバル・展覧会参加出展等支援 海外で開催されるフェスティバルや展覧会への参加や出展などを支援 (4)国立劇場国際交流支援 我が国の国立劇場が制作した世界最高水準の作品を他国の劇場などにおいて上演し、国際交流を促す取組に対して支援						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
予算の状況	当初予算					1,791	
	補正予算						
	繰越し等						
	計					1,791	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果目標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	芸術水準の向上を定量的に指標化することは非常に困難である。 【参考指標】本事業への申請数		成果実績				—
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本事業において支援する事業・取組の数		活動実績(当初見込み)	件	( )	( )	( ) 120 ( )
単位当たりコスト	14.9(百万円/1件あたり)		算出根拠	平成26年度要求額 1,791百万円 平成26年度支援予定数 120件			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	－	1百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」1,791百万円			
	職員旅費	－	1百万円				
	委員等旅費	－	1百万円				
	庁費	－	3百万円				
	文化芸術振興費補助金	－	1,585百万円				
	文化芸術振興委託費	－	200百万円				
	計	－	1,791百万円				

事業所管部局による点検										
	項目	評価	評価に関する説明							
国 必 要 投 入 の 性 能	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	内閣府の世論調査では、文化芸術の体験・活動の重要性を肯定する者は88.4%にのぼり、その担い手である文化芸術活動を行う芸術団体の水準向上は、広く国民のニーズがあると言え、第三次基本方針においても、重点的に取り組むべき施策としてあげられている。芸術性の高い海外公演や国際展等に於ける展示を実施するためには、渡航費をはじめ舞台費や文芸費等の多額の費用を要することから公的支援が必要である。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○								
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○								
事業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	補助対象経費については、例えば海外公演への補助であれば、旅費、舞台費の一部補助を想定しており、受益者との負担関係及び費目は妥当である。							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○								
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-								
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-								
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○								
事業 の 有 効 性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-								
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果のあるいは低コストで実施できているか。	-								
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-								
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-								
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-								
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名							
点 検 結 果	本事業は、我が国の優れた文化芸術を積極的に海外に発信し、国際発信力、競争力の強化を図っていく上で、大きな役割を果たすものである。本事業の実施により、芸術家や芸術団体の国際交流を推進することは、我が国の文化芸術の担い手である芸術家や芸術団体の国際的な知名度の向上、国際ネットワーク形成の促進はもとより、交流による新たな作品創造、ひいては我が国の芸術水準の向上にもつながるものであり、本事業を実施する意義は非常に大きいと言える。									
	外部有識者の所見									
外部有識者による点検対象外										
行政事業レビュー推進チームの所見										
		本事業は、定性的な内容であるが成果目標及び活動指標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることなどから、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。								
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況										
備考										
これまでほとんど支援を行ってこなかった現代アートやJ-POP等新たな分野に対して支援を拡充し、総合的に我が国の文化芸術の創造力、国際発信力・競争力の向上を図るため、事業統合を行った。 平成25年度限りの事業:「我が国の文化芸術を芸術による国際交流活動への支援(平成25年度事業番号:0400)」										
関連する過去のレビューシートの事業番号										
	平成22年	0490	平成23年	0413	平成24年	0436				

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.芸術団体等(全107件)			E.国立劇場等		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	会場・舞台・運搬費	大道具人件費、照明人件費、音響人件費等	503	文芸費	脚本料、脚色料、舞台美術デザイン料、衣裳デザイン料、音楽プラン料等	48
	謝金・旅費・宣伝等費	通訳謝金、翻訳料、国内交通費、印刷費等	447	謝金・旅費	通訳謝金、渡航費、滞在費等	2
	出演・音楽・文芸費	出演料、舞台監督料	335			
	計		1,285	計		50
B.横浜トリエンナーレ組織委員会	B.横浜トリエンナーレ組織委員会			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	会場費	会場借料、会場設営費	93			
	運搬費	作品運搬費	51			
	展示制作費	展示設営費、機材費	49			
	作品借料	作品借料	7			
	計		200	計		0
C.公益財団法人ユニジャパン	C.公益財団法人ユニジャパン			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	文芸費	演出料、翻訳料、字幕制作費	44			
	会場費	会場借料、会場設営費	39			
	出演費	司会者出演料、通訳料	7			
	上映費	映写機材費、映写技師費	6			
	作品借料	作品借料	2			
	招へい旅費	航空運賃、宿泊費	1			
	運搬費	作品輸送料	1			
	計		100	計		0
D.芸術団体等(全10件)	D.芸術団体等(全10件)			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	出演・音楽・文芸費	出演費、舞台監督料、音楽費等	70			
	謝金・旅費・宣伝等費	通訳謝金、翻訳料、渡航費、滞在費、印刷費、宣伝費等	50			
	会場・舞台・運搬費	会場借料、会場設営費等	30			
	計		150	計		0